

平成23年度 第1回 地域公共交通会議議事録

平成：23年6月8日（水） 午後2時～

場所：有田市役所4階市長応接会議室

（出席委員） 成川満、南篠正幸、番能幸晴、谷巖（代理：浜野、嶋）、脇村忠次、島崎正次、山崎佳彦、高垣太郎（随員：浜本）、中川晴雄、西村芳通、田村政博、山田裕二（代理：田中）、辻本紀之（代理：阪口）、下西一己（代理：竹奥）

（欠席委員） 北村修

（出席事務局職員） 橋本市長公室長、石井市長公室参事、河野経営企画課長、児嶋主任

（議 事）

協議事項1 会長の選任について

議案第1号 平成22年度決算の承認について

議案第2号 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について

1. 開会（事務局）

ただいまより、平成22年度第3回有田市地域公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は過半数以上の委員さんにご出席いただいておりますので、本会議設置要綱第5条第2項により本会が成立いたしましたことをご報告いたします。

それでは、まず始めに脇村副会長よりご挨拶よろしくお願いたします。

2. 副会長挨拶

有田市地域公共交通会議副会長の脇村です。よろしくお願いたします。平成20年度から始まりました有田市デマンドバスの運行につきましては、委員の皆様方にご協議ご検討いただきまして、3年間の地域公共交通活性化・再生総合事業を終えて4年目を迎えております。

つきましては、本日、平成22年度事業決算も含め、今後の当会議の運営や地域公共交通機関のあり方などについて、活発にご協議していただくよう、よろしくお願申し上げます。

3. 委員紹介（事務局）

新年度となりまして、委員様方におかれましても職場の人事異動等により委員の交代がありました。この度7名の方が新たに委員に就任いただきましたので、事務局より再度委員様全員をご紹介させていただきます。

（委員紹介）

委員様におかれましては今後とも当会議の運営にご協力の程よろしくお願い申し上げます。
それでは、副会長を議長にお願いし、議事に移らせていただきます。脇村議長よろしく申し上げます。

4. 議事

(脇村議長)

それでは、議事に移らせていただきます。
本日の議事は協議事項1件、議案2件の計3件です。
それでは、協議事項1「会長の選任について」を事務局より説明願います。

(事務局説明)

それでは、協議事項1の「会長の選任について」をご説明申し上げます。
お手元にお配りした資料の有田市地域公共交通会議設置要綱をご覧ください。
平成23年3月3日に前会長の田中副市長が辞任され、現時点では会長が不在となっております。
つきましては、要綱第4条第1項の規定により、「委員となるべき者の中からこれを選任する。」となっておりますので、よろしくお願いたします。

(脇村議長)

説明が終わりました。それでは、会長の選任を如何取りはからいましょうか。
もし、ご異議がなければ、私に一任いただけますか。

(異議なしの声)

(脇村議長)

ありがとうございます。それでは、ご苦勞ではございますが、成川満副市長にお願いをしたいと思います。いかがでございましょうか。

(異議なし)

それでは、成川満副市長に会長就任をお願いいたします。改めまして、会長より就任のご挨拶をお願いいたします。

(成川副市長)

只今、会長に選任いただきました成川です。委員の皆様方には有田市における地域公共交通に対し多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。今まで同様活発なご協議をよろしくお願いたします。

(脇村議長)

それでは、ここで、要綱第5条第1項の規定により、議長を会長におまかせいたします。

(議長交代)

(成川議長)

それでは、改めまして、議長を務めさせていただきます。
議案第1号「平成22年度決算の承認について」を説明願います。

(事務局説明)

平成22年度有田市地域公共交通会議決算についてご説明させていただきます。まず、歳入の部ですが、負担金といたしまして、有田市からの負担金4,773,000円、中紀バス株式会社様からの負担金156,339円の併せて4,929,339円となっております。次に補助金として国土交通省からの補助金3,517,000円、繰越金はございませんでした。諸収入の雑入として、広告料収入並びに利子収入を併せて285,123円で、歳入合計は8,731,462円でございます。続きまして歳出の部ですが、運営費の会議費として51,000円、事務費として420円、事業費として8,680,042円、予備費はございませんでした。併せて歳出合計は8,731,462円となり、歳入、歳出同額という決算となっております。

(成川議長)

質問、意見等をいただく前に「要綱第10条第3項」の規定に基づき、前監事・大松監事に監査して頂いておりますので、事務局より報告をさせていただきます。

(監査報告)

(成川議長)

ありがとうございました。監査報告が終わりました。平成22年度有田市地域公共交通会議の決算について、ご質問、ご意見等がございませんか。

それでは、議案第1号「平成22年度決算について」ご異議ございませんか。

(異議なし)

(成川議長)

ご異議がないようですので、議案第1号「平成22年度決算について」は、承認されました。それでは、引き続き、議案第2号「地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について」を説明願います。

(事務局説明)

地域内フィーダー系統確保維持計画の概要を説明いたします。

まず、1. 目的と必要性では、この計画を安全で安心して利用できる公共交通機関の存続と市の活性化を図るための計画として、行政のみでなく地域住民及び交通事業者等が一体となって総合的に推進していくものとして位置づけております。

2. 定量的な目標・効果では、①公共交通空白地域0地区②年間輸送人員32000人③収支率35%④住民のバス利便性に対する満足度60%と定量的な目標を定めるとともに、高齢者による交通事故をなくすためマイカーなしでも快適に暮らせる地域づくりを目指しております。

3. 運行系統の概要及び運行予定者及び4. 費用の総額、負担者及び負担額については、表1と表2をご覧ください。この表はH23年度からH25年度までの許可運行系統別の系統図と経費についてまとめられたものです。H23年度につきましては、H23.4月の路線とH23.5月から変更した路線が混在していますが、H24年度以降は現在の路線となっております。

経費につきましては複雑な計算となっておりますが、バスの走行キロ数とキロ当たり標準単価を掛け合わせたものから運賃収入等を引いたものと、国で定められた補助対象経費の限度額などにより規定で定められた算定を行っています。

路線図につきましては、前回の会議でもご確認いただいておりますので、ここでは経費と負担者及び負担額のご確認をいただく必要があります。しかし、現時点で国

庫補助上限額が国から示されていないため負担額の欄が空欄で完成していない状態となっています。国に確認したところ申請がどれぐらい出てくるかによって、補助対象経費の1/2の額を下回ることがかなり考えられるということで、計画を提出するまでに国庫補助上限額が決まるかどうかわからないというような情報を得ています。そこで考え方として、有田市の負担額として予算の範囲内で補助対象経費の1/2の額を負担し、有田市負担額と後に決まってきます国庫補助額で不足する額については事業者が負担するというようお願いしたいと考えています。後からご意見をいただければと思います。

5. 6. については、うちの路線には関係がないところですので、該当なしとなっています。

7. 地域の概要では、表5のとおりとなっております。有田市全域が半島振興法の適用を受けるため全域が補助事業の対象となっており、人口については平成17年の国勢調査の人口である32,143名となっております。

8. 9. 10. については、現在のところ車両取得の計画は予定されておられませんので、該当なしと記載しております。

11. 協議会の開催状況と主な議論では、H19年4月1日に会議が設置されてから本日の会議までの開催状況と議題等を記載しています。

12. 利用者等の意見の反映状況では、住民代表として連合自治会から3名の委員さんに参画していただいていること、その他意見を聞く体制が整っていることを記載するとともに、必要に応じてアンケート調査等を行う予定であることを記載しています。

13. は本日お集まりいただいております委員さまの名簿を記載しております。以上です。

(成川議長)

地域内フィーダー系統確保維持計画について、委員の皆様方のご意見を頂戴いたしたいと思いますが、何か、ございませんか？

(成川議長)

対象の事業者というのは中紀バスさんですね。せっかくの機会ですから中紀バスさんから何か一言ありませんか。

(高垣委員)

3年間の事業を終えて、今回新しく補助制度が継続するというので伺っています。その中で地域の足として安全安心便利でいけるような交通システムを今までどおり、それ以上にできるように事業者としては努力いたします。燃料の高騰や車両の老朽化など色々な問題もありますので、やっぱり市としても国としてもお助けというか、共に運営していけるようにいただければと思っております。

(中川委員)

補助金をいただけるという話を伺っているが、金額などは全くわからないんですか。目途などはたっていないのですか。

それと、前年度決算では中紀バスの負担金が156,339円の負担となっていますが、今年度はどういったことになるんですか。

(事務局)

今日は和歌山運輸支局の委員さまのおられるので、国の動向については委員さまに聞いた方がわかりやすいと思いますが、今聞かせていただいているところでは、補助対象経費の1/2の額にかなり届かないぐらいの金額で国庫補助上限額が定められるだろうという話を伺っています。

市の負担金といたしましては、補助対象経費の1/2の額を考えて、尚かつ予算の範囲内で負担金の支払いをさせていただきたいと考えておりました、昨年と

同程度の額の予算計上はしております。

(番能委員)

本来であればこの段階で国の負担上限額は示せていないといけないのでしょうかけれども、この制度は上限額に限らず要綱もごたごたしてなかなか決まらず、非常に段取りの悪いことで皆さまにもご迷惑をおかけしております。本局のヒアリングの際に今月の半ばぐらいに出したいんですが、それも定かではないということで聞いております。実際上限額はどのくらいになるのかという話ですが、さうとう厳しい金額になるとは聞いております。それと、東北の地震の関係で場合によってはそっちの方に取られるのではないかとという話もちよっと聞いておりますので、非常に厳しいのではないかと考えております。具体的にいくらかということについては、現時点では伏せさせていただきます。

(成川議長)

本来であれば決まっていなければならぬことで決まっていぬことなどもあって見通しがつきにくいですが、とにかく進めていかないと補助対象にもならないということなので、枠組みだけこういうことでいくということでご理解いただいて、大きな変化があったらその時点でご協議いただくということで進まないという仕方がないと思いますが、どうですか。

(事務局)

そうしていただければありがたいです。

(成川議長)

基本的には、国にできるだけ補助していただく、それに応じて市も負担して、できるだけ事業者の負担がないようにして、市民の公共交通機関を確保していくという方向でございます。大きな枠組みはこういうことで、今日のご理解いただければと思います。

(中川委員)

目標のなかに収支率35%とありますが、今はどのくらいですか。

(事務局)

平成20年度からこの制度にのって運行が始まっていますが、平成20年度で年間輸送人員が32,879名で収支率が44.1%でした。平成21年度は年間輸送人員が27,529名で収支率が33.5%、平成22年度は年間輸送人員が26,325名で収支率が34%という数字になっています。

(成川議長)

議案第2号「地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について」ご意義ございませんか。

(異議なし)

それでは議案第2号については、承認ということでありありがとうございました。それでは、その他について事務局より説明願います。

(事務局)

特にございません。

(成川議長)

事務局からは特にないということですが、せっかくお忙しい中みなさまお集まりい

ただきましたので、議案に関係なくてもご意見などありましたら伺っておいて今後のことに反映させていきたいと思っておりますので、何かございましたらよろしくお願ひします。

(山崎委員)

市内で地域によって利用頻度の高い地域と低い地域とがおそらくあると思いますが、その辺は掴んでいますか。

(事務局)

毎月、中紀バスさんから停留所毎の乗降者数をいただいておりますので、少し遅れて入ってきますが、その辺は掴んでおります。走っている時間毎のデータでもらっていますので、それを集計しております。去年度のもものは出ております。

(山崎委員)

大まかな掴みで良いので、どの地域が多いのかわかりますか。

(事務局)

もともと矢櫃で路線バスが走っていた関係もあって、矢櫃からの乗車は多いです。宮原方面は路線バスがなかったのですが、4年目ということで増えてきているという状況です。停留所と言えば、やはりオークワ、市立病院などが乗降者数の多い停留所となっております。

(山崎委員)

糸我の方はどうですか。

(事務局)

糸我の方は、共撰のところはぼちぼち乗ってくれています。また、居酒屋にしきの前のバス停もぼちぼち乗ってくれています。

(島崎委員)

路線については変更ないのか。路線図も載せておいてほしい。

(事務局)

5月に路線変更をしています。3月末の協議会で配ったので、新しい委員さまには路線図をお渡しいたします。

(成川議長)

ご意見等ございませんか？無いようでしたら、これで平成23年度第1回有田市地域公共交通会議を終了させていただきます。本会の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

5. 閉会